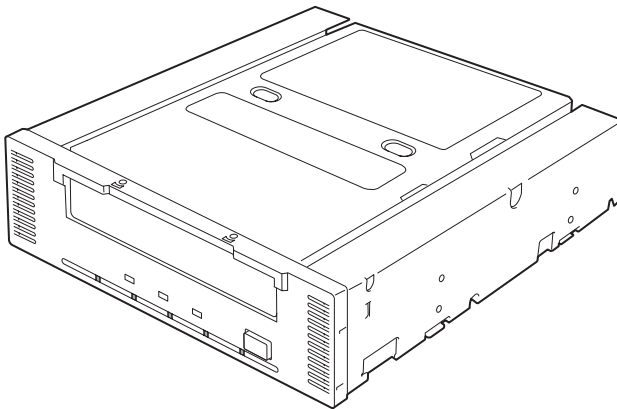


N8151-34 内蔵AIT

取扱説明書



製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。
本書は熟読の上、大切に保管してください。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書の指示に従って操作してください。

本書には装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

本書では、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号(シグナルマーク)を使って表しています。それぞれの記号は次ページのような意味を持つものとして定義されています。

シグナルマークのご説明



このシグナルマークは社団法人日本電子工業振興協会で定められた警告表示です。このシグナルマークは本製品をご使用していただく際に特にご注意ください内容を説明していますので製品使用前に必ずお読みください。

シグナルマークで指示された内容については必ずお守りください。

指示を無視した取り扱いを行うと、警告表示された危険が発生します。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

本書で使用している記号とその内容について次に示します。

注意の喚起

	指示を守らないと、感電のおそれがあることを示します。		指示を守らないと、発煙または発火のおそれがあることを示します。
---	----------------------------	---	---------------------------------

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。
---	--------------------------------------	---	-------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		指示に従った操作をしてください。指示を守らないと、火災や感電のおそれがあります。
---	--	---	--

使用上のご注意

～必ずお読みください～

内蔵AITを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全上のご注意

内蔵AITを安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

重要

ここで示す注意事項に加えて、本装置を取り付ける装置に添付の説明書も参照してください。説明書では、本装置を含むオプションの取り付け・取り外しの際の注意事項などが記載されています。



■ 分解・改造をしない

本装置の分解や改造は絶対にしないでください。火災や感電のおそれがあります。



■ 煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに基本処理装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはNECの保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



■ 破損したまま使用しない

本装置が破損した場合は、ただちに基本処理装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはNECの保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



■ 針金や金属片を差し込まない

通気孔やカートリッジの挿入口などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

警告



■ 指定以外の設置場所で使用しない

取り付ける装置に添付の説明書を参照して、使用環境に適した場所でお使いください。指定以外の設置場所で使用すると、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。



■ ぬれた手で触らない

ぬれた手で本装置の取り付け／取り外し、DCケーブルの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

注意



■ 正しくケーブルを接続する

ケーブルの接続は本書8ページの「基本処理装置への取り付け」に従って正確に行ってください。



■ ケーブルを折り曲げない

DCケーブルや接続ケーブルを無理に曲げたりねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。ケーブルが破損し、火災や感電の原因となります。



■ プラグを抜かずにケーブルの取り付け、取り外しをしない

基本処理装置や周辺機器の接続／取り付けをする場合には、必ず基本処理装置に接続している電源コードをACコンセントから抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま、接続／取り外しをすると感電のおそれがあります。



■ 破損しているケーブルを使用しない

ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れていないことを確認してください。コネクタが破損していたり、曲がっていたり、汚れていたりすると、ショートにより火災をひき起こすおそれがあります。

注意



■ 中途半端に差し込まない

ケーブルのコネクタは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



■ ケーブルを持って引き抜かない

DCケーブルや接続ケーブルの抜き差しはコネクタを持って行ってください。ケーブル部分を引っ張るとケーブルが破損し、火災や感電の原因となります。



■ コネクタなどの端子間をショートさせない

火災や感電の原因となります。



■ 指定以外の装置に取り付けて使用しない

指定以外の装置に取り付けて使用すると、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。



■ 海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



■ ファンや通風口をふさがない

本装置の背面にあるファンや前面にある通風口をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。



■ 装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店またはNECの保守サービス会社にご連絡ください。

注意



■ 雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



■ ほこり・湿気の多い場所に保管しない

本装置をほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。再び取り付けたときに火災になるおそれがあります。



■ 近くで携帯電話、PHS、ポケットベルを使用しない

本装置の近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使用しないでください。誤動作の原因となることがあります。

正しく動作させるために

本装置を正しく動作させるために、次の点について注意してください。

AITデータカートリッジの取り扱いに関する注意事項については、「AITデータカートリッジ」の章を参照してください。

- **本装置のSCSI IDとその他のSCSI機器のSCSI IDが重複しないように設定してください。**
→ 誤動作の原因となります。
- **本装置前面にあるBUSYランプが点灯、または点滅しているときに基本処理装置の電源をOFFにしないでください。**
→ 故障、およびバックアップデータの破損の原因となります。
- **腐食性ガスの発生する場所、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所に保管しないでください。**
→ 部品が変形したり傷んだりして正常に動作しなくなるおそれがあります。
- **強い振動の発生する場所に保管しないでください。**
→ 故障の原因となります。
- **本装置にセットするデータカートリッジには、当社製の「AITデータカートリッジ(型番: EF-2420L、EF-2420)」を使用してください。**
→ 当社製以外のデータカートリッジを使用するとリード／ライトエラーを起こすことがあります。
- **本装置のクリーニングには、当社製の「AITクリーニングカートリッジ(型番: EF-3237J)」を使用してください。**
→ 当社製以外のクリーナーを使用すると故障の原因となることがあります。
- **カートリッジを入れたままでの移動はやめてください。**
→ 衝撃が加わったとき、装置やカートリッジを傷める原因となります。
- **本装置を使用していないとき、電源を切るときは、カートリッジを取り出してください。**
→ カートリッジの寿命が短くなったり、誤動作の原因となるおそれがあります。
- **カートリッジが本装置の挿入口から飛び出している状態で長期間放置しないでください。**
→ カートリッジの寿命が短くなったり、本装置の故障の原因となるおそれがあります。

その他

第三者への譲渡について

本装置を第三者へ譲渡（または売却）される場合には、本書を一緒にお渡しください。

消耗品・装置の廃棄について

本装置、およびカートリッジの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

保証について

本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無料修理いたします。詳しくは『保証書』をご覧ください。

保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたはNECの保守サービス会社に連絡してください。

＝ 重要

NEC製以外（サードパーティ）またはNECが認定していない装置またはインタフェースケーブルを使用したために起きた故障については、当社NECの保証が受けられないことがあります。

商標について

Microsoftとそのロゴ、Windows、およびWindows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Advanced Intelligent Tapeはソニー株式会社の商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows NT 4.0はMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 4.0、およびMicrosoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0の略称です。

Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server、およびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Serverの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© NEC Corporation 2000

はじめに

このたびは、N8151-34 内蔵AITをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

N8151-34 内蔵AITは、NECのExpress5800シリーズ(サーバ/ワークステーション)をはじめとする「基本処理装置」で使える内蔵タイプのデータカートリッジドライブです。

AIT (Advanced Intelligent Tape) カートリッジに対応した高速ドライブは、お客様の大切なデータのバックアップ、運用、管理をよりスムーズにすることでしょう。

本装置の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解いただけるようお願い申し上げます。

本書について

本書は、N8151-34 内蔵AITを正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。内蔵AITのセットアップを行う場合や日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときにご利用ください。

本書は、内蔵AITを安全に、正しくお使いになるための事柄(セットアップや日常の取り扱いおよび保守)と内蔵AITで利用できるカートリッジ「AITデータカートリッジ」を正しくお使いになるための事柄(取り扱い方法や保管方法)の2つの章から構成されています。

はじめて取り扱うときの読み方

本製品を梱包箱から取り出して、はじめて取り扱うときは次の順序で本書を参照して、セットアップをしてください。

1. 箱の中身を確認する 箱の中身について(→xivページ)
2. 取り扱う上での注意事項を覚える 使用上のご注意(→ivページ)
3. 内蔵AITの部品の名前を覚える 各部の名称と機能(→2ページ)
4. 取り付け前の設定をする セットアップ(→4～7ページ)
5. 基本処理装置に取り付ける セットアップ(→8～10ページ)
6. ドライバをインストールする* テープドライバのインストール(→11～15ページ)
7. カートリッジの取り扱い方法を覚える .. AITデータカートリッジ(EF-2420L、EF-2420)について(→21ページ)
8. カートリッジをセットする 取り扱い(→16ページ)
9. ランプ表示を確認する 取り扱い(→18ページ)
10. 内蔵AITをクリーニングする クリーニング(→19ページ)

* Windows NT 4.0のWindows NTバックアップ、およびWindows 2000のWindowsバックアップを使用する場合のみ

データの保存のしかたやデータの保存形式などの設定については、バックアップソフトに添付の説明書を参照してください。

本文中の記号について

本文中では次の3種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します(安全にかかわる表示については巻頭をご覧ください)。

 重要	装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置を取り扱う上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

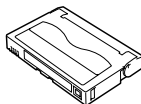
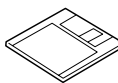
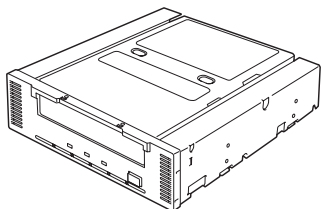
箱の中身について

N8151-34 内蔵AITの梱包箱の中には、内蔵AIT本体以外にいろいろな付属品が入っています。下図を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

☐ N8151-34 内蔵AIT

☐ フロッピーディスク*

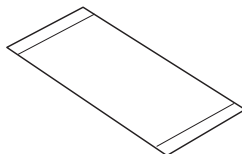
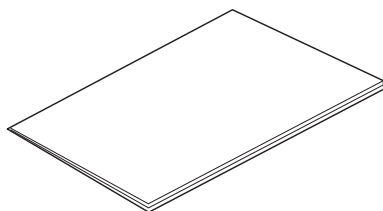
☐ クリーニングカートリッジ



☐ テープ監視ツール取扱説明書

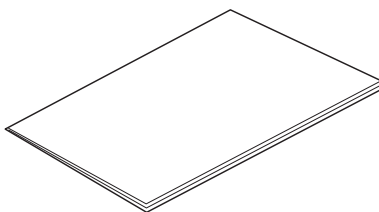
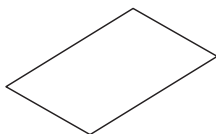
☐ ネジ(4本、M3/長さ 6mm)

☐ 保証書



☐ AIT装置 取り扱いについて

☐ 取扱説明書(本書)



* 本フロッピーディスクには、デバイスドライバとテープ監視ツールが入っています。デバイスドライバのインストールについては、本書の11ページを参照してください。テープ監視ツールについては、添付の取扱説明書を参照してください。

重要

- 梱包箱や箱の中に入っていた固定用部材は、本装置を取り外して輸送する際に必要となります。大切に保管しておいてください。
- 添付のフロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付の保証書はアフターサービスを受けるときに必要となります。大切に保管しておいてください。

目次

使用上のご注意 ～必ずお読みください～

 安全にかかわる表示について	ii
安全上のご注意	iv
正しく動作させるために	viii
その他	ix
第三者への譲渡について	ix
消耗品・装置の廃棄について	ix
保証について	ix
はじめに	xi
本書について	xii
はじめて取り扱うときの読み方	xii
本文中の記号について	xiii
箱の中身について	xiv

内蔵AITについて

特長	1
使用できるカートリッジ	1
各部の名称と機能	2
装置前面	2
装置背面	2
装置底面	3
セットアップ	4
内蔵AITの設定	
～ジャンパピンを使った設定～	4
内蔵AITの設定	
～DIPスイッチを使った設定～	6
基本処理装置への取り付け	8
テープデバイスドライバのインストール	11
取り扱い	16
AITデータカートリッジのセット	16
AITデータカートリッジの取り出し	17
ランプ表示	18
データのリード／ライト	18
クリーニング	19
リード／ライトヘッドのクリーニング	19
本体のクリーニング	20

AITデータカートリッジ (EF-2420L、EF-2420) について

データカートリッジの各部の名称	21
使用・保管・運搬条件	22
ラベル	22
ラベル貼り付け位置	22
ラベルへの記入上の注意事項	23
ライトプロテクト	23
取り扱い上の注意事項	24
使用上のご注意	24
一般的注意事項	25
使用禁止基準	25
寿命	26
重要なデータの保存について	26
データの3世代管理について	27
データカートリッジの保管について	27

仕 様	28
運用状況お客様記入シート	29

内蔵AITについて

本装置のセットアップから取り付け、日常の取り扱い方法について説明します。

特長

本装置には、次のような特長があります。

- Advanced Intelligent Tape (AIT) フォーマットを使ってデータをAIT1データカートリッジに大容量記録できます。
- データ圧縮機能¹によりAIT1データカートリッジ(テープ長230m)を使うと35～70Gバイトのデータを記録できます。
- AITデータカートリッジに記録されているデータが圧縮されているのか、されていないかを自動判別しますので、従来の機器で記録したAITデータカートリッジのデータも、そのまま読み出すことができます。

¹ 記録されるデータは、使用環境やデータの種類に応じて圧縮率が変動することがあります。

(平均圧縮率2倍時 70Gバイト (AIT1(テープ長230m)データカートリッジ使用))

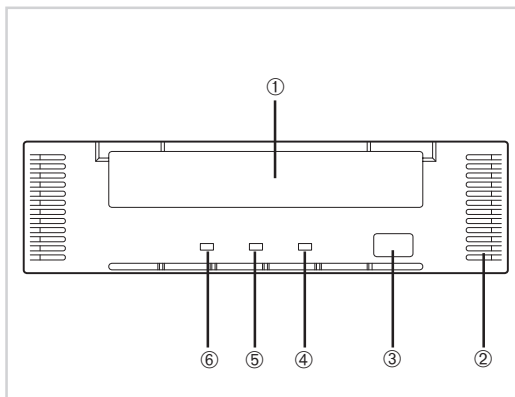
使用できるカートリッジ

本装置には、当社製AITデータカートリッジ(ATI1:EF-2420L(テープ長230m))、(AIT1:EF-2420(テープ長170m))をご使用ください。当社製以外のAITデータカートリッジを使用するとリード／ライトエラーの原因となる場合があります。

各部の名称と機能

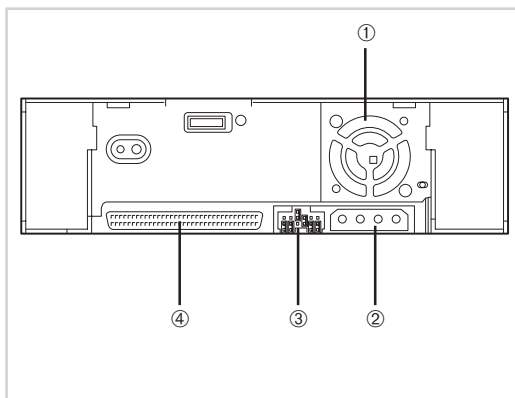
本装置の各部の名称と機能について説明します。

装置前面



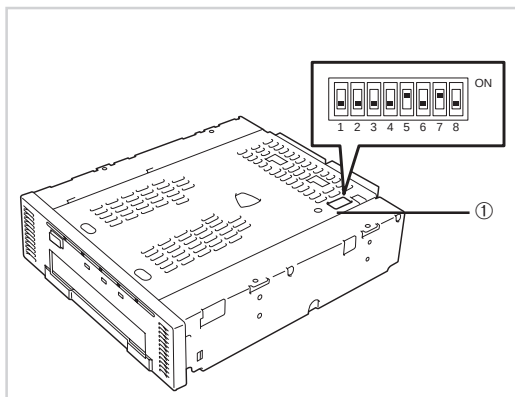
- ① **データカートリッジ挿入口**
AITデータカートリッジ をセットするスロット (→16ページ)。
- ② **通風口**
- ③ **EJECTボタン**
AITデータカートリッジを本装置から取り出すときに押す (→17ページ)。
- ④ **STATUSランプ**
本装置の状態を示すインジケータ (→18ページ)。
- ⑤ **TAPEランプ**
AITデータカートリッジの状態を示すインジケータ (→18ページ)。
- ⑥ **BUSYランプ**
データの通信状態を示すインジケータ (→18ページ)。

装置背面



- ① **ファン**
- ② **電源コネクタ**
本体の内蔵電源ケーブルを接続する (→9ページ)。
- ③ **ジャンパピン**
内蔵AITの設定をするピン (→4ページ)。
- ④ **SCSIコネクタ**
本体の内蔵SCSIケーブルを接続する (→9ページ)。

装置底面



① DIPスイッチ

内蔵AITの設定をするスイッチ
(→6ページ)。

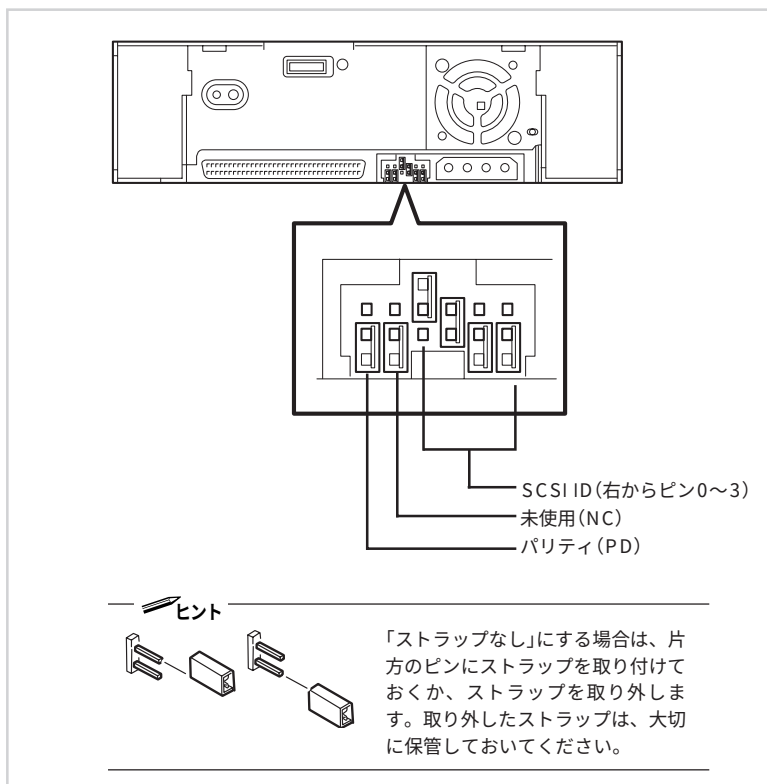
セットアップ

本装置をExpress5800シリーズ装置などの「基本処理装置」に取り付けるまでの手順を説明します。

内蔵AITの設定 ～ジャンパピンを使った設定～

本装置の背面にあるジャンパピンでは次の設定を変更することができます。

- SCSI ID (工場出荷時の設定は「ID 4」)
- パリティ機能 (工場出荷時の設定は「有効」)

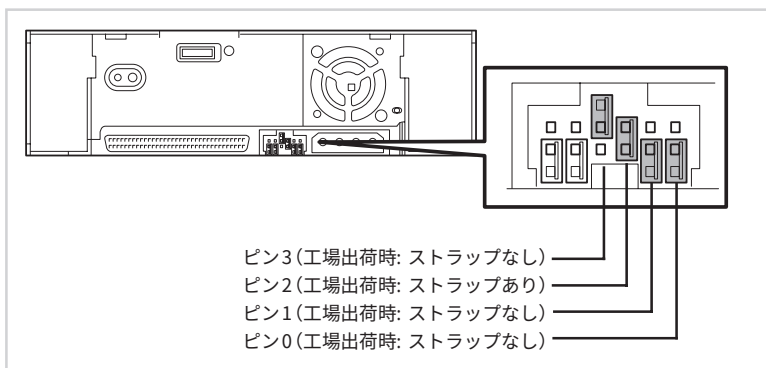


ヒント

ここでの「ストラップあり」とは、2つのピンにストラップを取り付けた状態をさします。また、「ストラップなし」はストラップをピンに取り付けていないか、2つのピンのうち、どちらか一方のピンにのみ取り付けられている状態をさします。

SCSI IDの設定

本装置が使用するSCSI IDを設定します。設定は背面にあるジャンパピンの「ピン0」～「ピン3」の4本のピンを使います。



✓ チェック

他のSCSI機器とSCSI IDが重複していないことを確認してください。

SCSI ID	ピン3	ピン2	ピン1	ピン0
0	×	×	×	×
1	×	×	×	○
2	×	×	○	×
3	×	×	○	○
4 ^{*1}	×	○	×	×
5	×	○	×	○
6	×	○	○	×
7 ^{*2}	×	○	○	○
8	○	×	×	×
9	○	×	×	○
10	○	×	○	×
11	○	×	○	○
12	○	○	×	×
13	○	○	×	○
14	○	○	○	×
15	○	○	○	○

○ ストラップあり

× ストラップなし

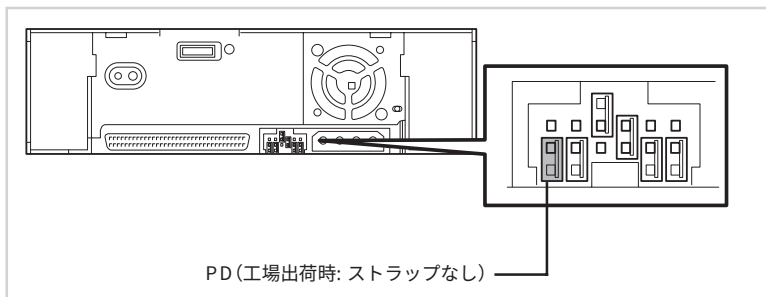
^{*1} 出荷時の設定。

^{*2} SCSI IDをID 7に設定しないでください。

パリティ機能の設定

パリティ機能の設定を設定します。設定は背面にあるジャンパピンの一番左側のピンを使います。

ストラップなしにすると、パリティ機能は「有効」になります(工場出荷時の設定)。ストラップありにするとパリティ機能は「無効」になります。

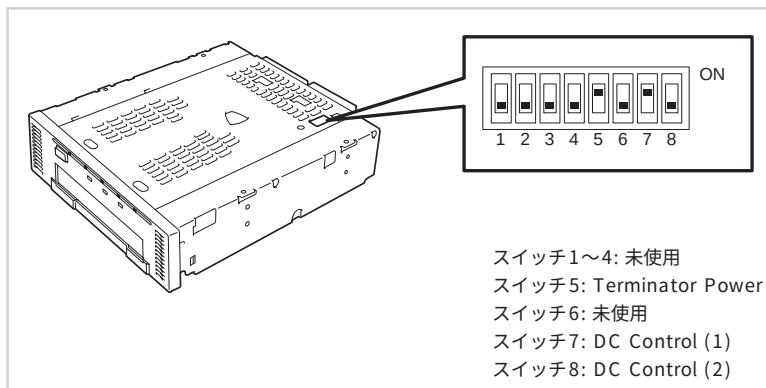


信頼性を向上させるために、「有効(ストラップなし)」に設定してください。

内蔵AITの設定 ～DIPスイッチを使った設定～

本装置の底面にあるDIPスイッチでは次の設定を変更することができます。

- Terminator Power(ターミネータ電源供給) (工場出荷時の設定は「ON」)
- DC Control (1)(データ圧縮設定) (工場出荷時の設定は「ON」)
- DC Control (2)(データ圧縮設定) (工場出荷時の設定は「OFF」)

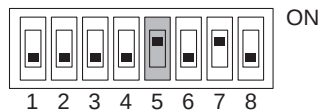


ターミネータ電源供給の設定 ～Terminator Power～

ターミネータ電源をSCSIバスに供給するか供給しないかを設定します。

設定はスイッチ5を使います。「ON(工場出荷時の設定)」でターミネータ電源を供給する設定に、「OFF」で供給しない設定になります。

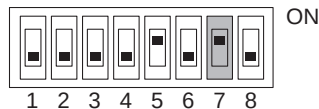
* 本装置をN8541-28、N8141-28デバイス増設ユニットに搭載して、電源連動機能を使用する場合には、本設定を「OFF」にしてください。



データ圧縮の設定 ～DC Control (1)～

本装置が持つデータ圧縮機能を有効にするか無効にするかを設定します。

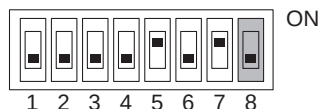
設定はスイッチ7を使います。「ON(工場出荷時の設定)」でデータ圧縮機能を有効にする設定に、「OFF」でデータ圧縮機能を無効にする設定になります。



データ圧縮の設定 ～DC Control (2)～

バックアップソフトからデータ圧縮の制御を有効にするか無効にするかを設定します。

設定はスイッチ8を使います。「ON」でバックアップソフトからのデータ圧縮制御を無効にする設定に、「OFF(工場出荷時の設定)」でバックアップソフトからのデータ圧縮制御を有効にする設定になります。



基本処理装置への取り付け



注意



本装置を取り付ける前に、必ずサーバ／ワークステーション等基本処理装置の電源プラグをコンセントから引き抜いてください。コンセントに差し込んだまま作業を行うと、感電するおそれがあります。

本装置を基本処理装置へ取り付けます。

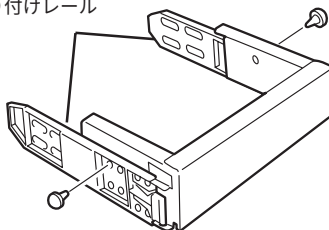
1. 基本処理装置の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜く。
2. 基本処理装置のカバーを取り外す。
3. 基本処理装置の5.25インチデバイスベイのカバーを取り外す。

4. 基本処理装置の5.25インチデバイスベイの取り付けレールを取り外す。

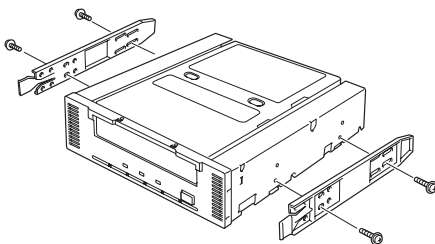
(取り付けレールを使用しない、もしくは片側のみ使用する基本処理装置もあります。その場合の取り付け方法は基本処理装置の取扱説明書を参照下さい。)

基本処理装置側の取り付けレールの例(基本処理装置によって取り付けレールが図と異なる場合があります。)

取り付けレール

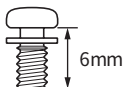


5. 本装置に4.で取り外した取り付けレールを取り付ける。

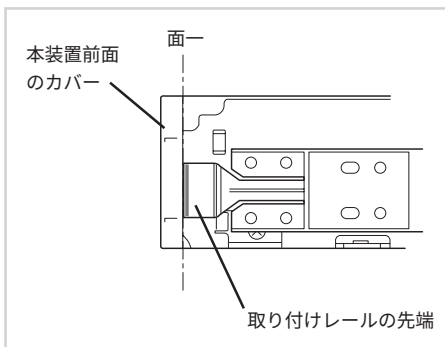


— ✓ チェック —

- 取り付けレールの先端が右図の位置になるように固定してください。
- ネジは添付のネジM3長さ 6mm (4本)を使用してください。

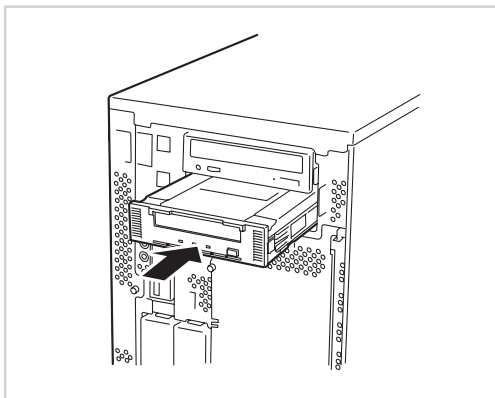


(添付のネジより長いものを使用した場合、装置内部のメカを傷つけ故障の原因となることがあります。)



6. 本装置を基本処理装置の5.25インチデバイスベイのスロットに差し込む。

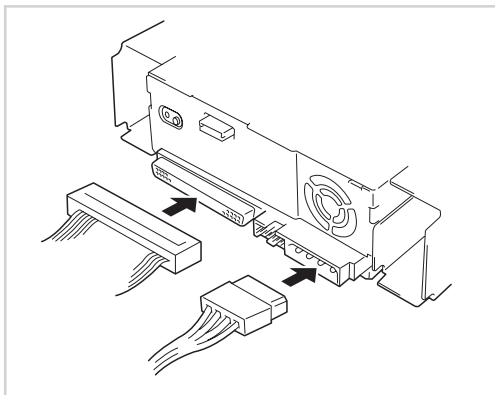
「カチッ」という音が出て、ロックされます。



7. ケーブルを接続する。

— ✓ チェック —

本装置には、ターミネータ機能はありません。本装置がSCSI接続の最遠端になる場合は、SCSIケーブルの末端にターミネータを取り付けてください。



8. 基本処理装置にカバーを取り付けて、電源コードをコンセントに接続する。
9. 基本処理装置の電源をONにする。
10. SCSIバスの設定が基本処理装置側でできる場合は、本装置について以下のように設定してください。
- 転送レート:

40Mbyte／秒(最大、同期)

● データバス幅:

16ビット(Ultra Wide SCSI、LVD/SE)

● DISCONNECT/RECONNECT機能: 有効

詳しくは、基本処理装置に添付の説明書を参照してください。

— チェック —

同一バス上に接続されているデバイス数およびSCSIケーブル長により、下記の通り最大転送レートを設定してください。

SCSI	最大転送レート (Mbyte/s)	データバス幅 (bit)	最大ケーブル長(m) Single-ended (LVD*)	最大デバイス数 (SCSIホスト+ デバイス数)
Ultra Wide SCSI	40	16	3 (-)	4
Ultra Wide SCSI	40	16	1.5 (-)	8
Ultra Wide SCSI	40	16	- (3)	16
Fast Wide SCSI	20	16	3 (3)	16
Wide SCSI	10	16	6 (3)	8

*SCSIホストおよび同一バス上の全デバイスがLVD対応の場合

テープデバイスドライバのインストール

Windows NT 4.0のWindows NTバックアップ(管理ツール)、およびWindows 2000のWindowsバックアップ(システムツール)を使用する方のみインストールしてください。

基本処理装置にテープデバイスドライバをインストールします。ドライバのインストールには、添付のフロッピーディスクを使用します。あらかじめ用意しておいてください。

● Windows NT 4.0をご使用のお客様

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントして[コントロールパネル]をクリックする。

[コントロールパネル]ダイアログボックスが表示されます。

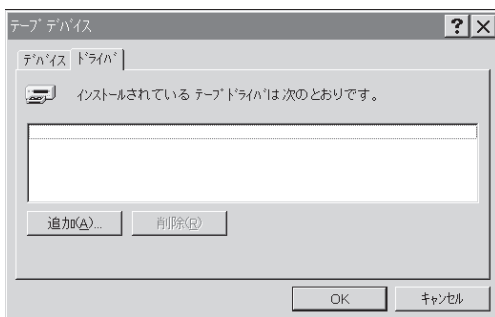
2. [コントロールパネル]の[テープデバイス]をクリックする。

[テープデバイス]ダイアログボックスが表示されます。

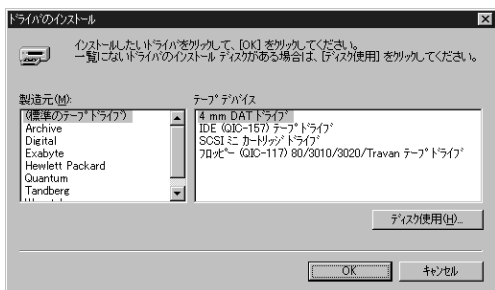
3. [ドライバ]タブをクリックする。

4. [追加]ボタンをクリックする。

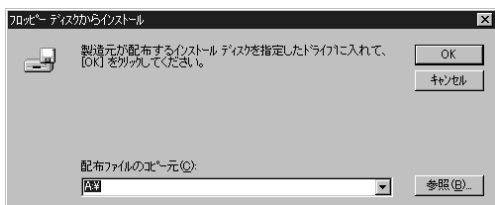
[ドライバのインストール]ダイアログボックスが表示されます。



5. 「ディスク使用(H)...」をクリックする。



「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。



6. 配布ファイルのコピー元(C): に "A:\\" が指定されていることを確認し、「参照(B)...」ボタンをクリックする。

「ファイルを見つけます」ダイアログボックスが表示されます。



7. "WinNT4.0" をポイントし、「開く(O)」ボタンをクリックする。

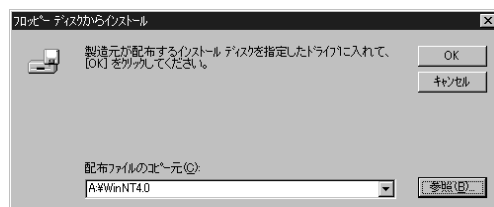
「ファイルを見つけます」ダイアログボックスに「NT4ait.inf」が表示されます。



8. ファイル名に「NT4ait.inf」が指定されていることを確認し、「開く(O)」ボタンをクリックする。

9. 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスの「配布ファイルのコピー元(C)」に "A:\WinNT4.0" が指定されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックする。

「ドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されます。



10. 「テープデバイス」に表示されている "Sony AIT Tape Drive(NT 4.0)" をクリックして「OK」ボタンを押す。

ドライバファイルのコピーが始まりインストールが完了します。



11. システムを再起動します。

重要

Windows NTバックアップを使用する場合は、他のバックアップソフトをインストールしないでください。インストールしている場合は、アンインストールしてください。また、Windows NTバックアップ以外のバックアップソフトを使用する場合は、「SONY AIT Tape Drive (NT4.0)」を削除してください。

ヒント

インストールしたテープデバイスドライバは、システムの再起動後に有効になります。

● Windows 2000でドライブをご使用のお客様

重要

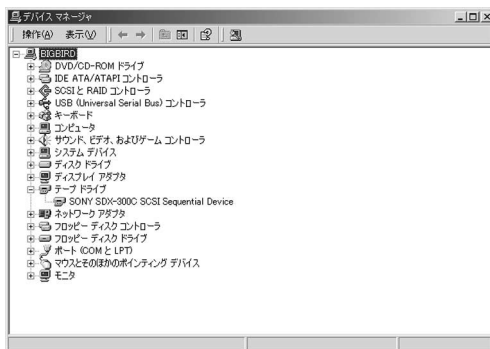
既にテープデバイスドライバが組み込まれている場合がありますが、下記手順に従い必ず添付フロッピーディスクのテープデバイスドライバをインストールしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントし「コントロールパネル」をポイントし「システム」をクリックする。

「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする。

「デバイスマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。

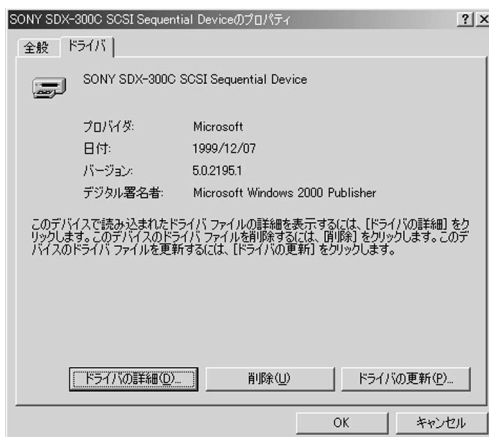


3. 「テープドライブ」に「SONY SDX-300C SCSI Sequential Device」と表示されていることを確認し、「SONY SDX-300C SCSI Sequential Device」をダブルクリックする。

「SONY SDX-300C SCSI Sequential Deviceのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4. 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする。

「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が表示されます。



5. 「次へ」ボタンをクリックする。

「ハードウェアデバイスドライバのインストール」画面が表示されます。



6. 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

「ドライバファイルの特定」画面が表示されます。

添付のフロッピーディスクを挿入します。



7. 「フロッピーディスクドライブ」にのみチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックする。

ドライバファイルの検索が始まります。

8. 「次のドライバが検索されました。SONY SDX-300C SCSI Sequential Device」と表示されるのを確認し、「次へ」ボタンをクリックする。

「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。

9. 「OK」ボタンをクリックする。

ドライバのコピーが始まり、「ファイルが必要」ダイアログボックスが表示されます。

10. ファイルのコピー元に "A"が指定されていることを確認し、「参照」ボタンをクリックしてsonyait2.sysを選択し、「開く」ボタンをクリックする。

「ファイルが必要」ダイアログボックスに戻ります。

11. 「OK」ボタンをクリックする。

「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」画面が表示されます。

12. 「完了」ボタンをクリックする。

取り扱い

本装置の取り扱い方法を説明します。

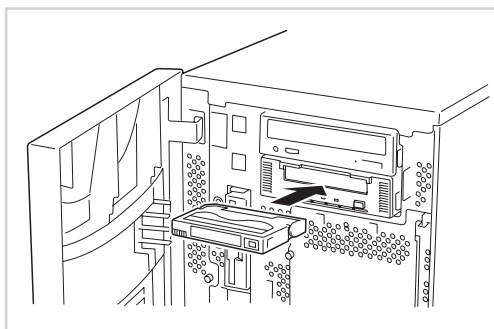
AITデータカートリッジのセット

重要

- 本装置にセットするデータカートリッジには、当社製の「AITデータカートリッジ(型番: EF-2420L、EF-2420)」を使用してください。当社製以外のデータカートリッジを使用するとリード／ライトエラーを起こすことがあります。
- データカートリッジをセットしている間は、基本処理装置の電源をOFFにしないでください。誤動作やデータの破壊の原因となります。

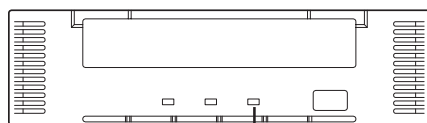
1. 基本処理装置の電源をONにした後、本装置のSTATUSランプとBUSYランプ、TAPEランプが消灯したことを確認する。
2. AITデータカートリッジを右図の向きにして本装置のデータカートリッジ挿入口に挿入する。

ある程度挿入するとデータカートリッジは自動的に本装置内部にセットされ、TAPEランプが点灯します。

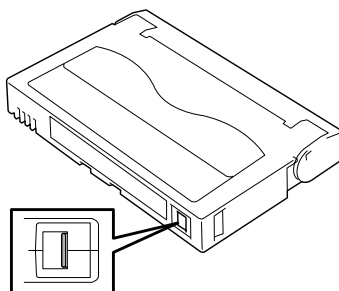


チェック

データカートリッジのライトプロテクトプラグでデータカートリッジにデータを書き込めないように設定している場合は、STATUSランプが点灯します。



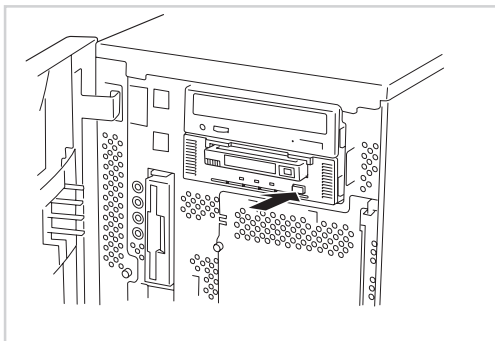
STATUSランプ



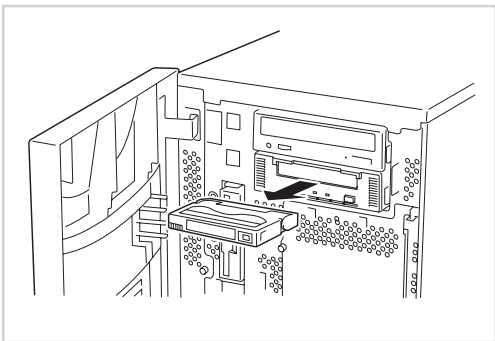
ライトプロテクトプラグ(右にスライドさせると書き込み禁止になる)
(23ページ)

AITデータカートリッジの取り出し

BUSYランプが消灯していることを確認してからEJECTボタンを押します。テープの巻き戻しが始まります(巻き戻しに数分かかる場合があります)。巻き戻しが終わるとデータカートリッジは自動的に装置内から排出されます。



データカートリッジ挿入口からデータカートリッジを取り出してください。



重要

- BUSYランプが点灯、または点滅している間は、基本処理装置の電源をOFFにしないでください。誤動作やデータの破壊の原因となります。
- 本装置にデータカートリッジを挿入したまま移動しないでください。本装置の故障の原因となります。

ランプ表示

本装置前面にある4つランプで、本装置やAITデータカートリッジの状態を知らせます。

ランプ名	表示状態	意 味
POWER ランプ	消灯	本装置の電源がOFFになっている。
	点灯	本装置の電源がONになっている。
BUSY ランプ	消灯	—
	点灯	データの送受信中。
	点滅	セットされているデータカートリッジのデータが正常にリード／ライトされている。
TAPE ランプ	消灯	データカートリッジがセットされていない。
	点灯	データカートリッジがセットされている。
	点滅（等間隔）	データカートリッジのセット／取り出しをしている。
	点滅（長い点灯と短い点灯の繰り返し）	セットしているデータカートリッジが劣化している。
STATUS ランプ	消灯	セットしているデータカートリッジがデータを書き込める状態にある。
	点灯	セットしているデータカートリッジがデータを書き込めない状態にある（ライトプロテクトされている）。
	点滅（長い点灯と短い消灯の繰り返し）	本装置のヘッドクリーニングが必要である。
	点滅（等間隔）	ヘッドクリーニング中、クリーニングカートリッジのテープが終了した。
	点滅（短い点灯（1回ないし2回）と長い点灯の繰り返し）	本装置が故障している。

データのリード／ライト

AITデータカートリッジからのデータの読み込み（リード）、または書き込み（ライト）の方法については、バックアップソフトに添付の説明書を参照してください。

クリーニング

本装置を常にベストな状態に保つために、定期的にクリーニングをしてください。

リード／ライトヘッドのクリーニング

STATUSランプが点滅(長い点灯と短い消灯の繰り返し)しているときは、本装置内部のリード／ライトヘッドを清掃してください。

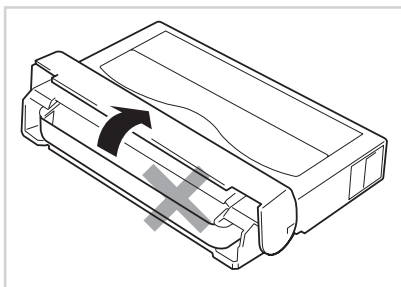
添付のクリーニングカートリッジ(EF-3237J)を「取り扱い」の「AITデータカートリッジのセット」で説明している手順で本装置にセットします。

クリーニングカートリッジをセットすると自動的にヘッドのクリーニングが開始されます。

クリーニングが終了すると、自動的にクリーニングカートリッジが出てきます(開始から約35秒後)。クリーニングカートリッジを取り出してください。

重要

- 本装置のクリーニングには、当社製の「AITクリーニングカートリッジ(型番: EF-3237J)」を使用してください。当社製以外のクリーナーを使用すると故障の原因となることがあります。
- クリーニングカートリッジのテープ面を手で触ったり、テープを巻き戻して使用したりしないでください。
- クリーニングカートリッジは約70回使用することができます。クリーニング中にSTATUSランプが点滅(等間隔)したときは、クリーニングカートリッジのテープが終わりまできたことを示します(クリーニングカートリッジを取り出して右側のリールにテープがすべて巻き取られていることもあわせて確認してください)。新しいクリーニングカートリッジを別途お買い求めください。



ヒント

リード／ライトヘッドは、1週間に1回、使用する前にクリーニングカートリッジで清掃することをお勧めします(使用している環境(チリやホコリの発生状況)や使用回数によって異なりますが、一般的な事務室などで毎日使用する場合、1週間に1回の清掃を目安としてください)。

本体のクリーニング

本装置の外観が汚れたときは、やわらかい布に水または洗剤を含ませて軽く拭いてください。

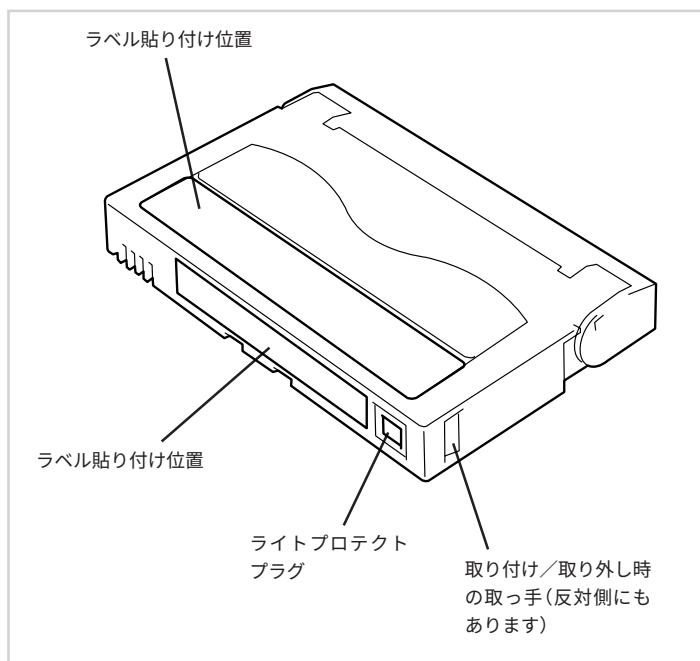
重要

ベンジン、シンナーなど(揮発性のもの)の薬品で拭くと、変形や変色の原因となる場合があります。また、殺虫剤をかけた場合も変形や変色の原因となる場合があります。薬品が付着したら、早めに水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

AITデータカートリッジ(EF-2420L、EF-2420)について

AITデータカートリッジの取り扱い方法について説明します。

データカートリッジの各部の名称



使用・保管・運搬条件

■ 使用条件

温度 5～45℃

湿度 20～80% (ただし、湿球の最高温度は26℃とします。)

放置時間 使用および保管環境条件以外の環境にAITデータカートリッジがさらされていた場合には、使用および保管環境条件以外の環境にさらされていた時間より長く(最大8時間)使用環境になじませてから使用してください。温度勾配は10℃/時間とします。

■ 保管条件

温度 5～32℃

湿度 20～60% (ただし、湿球の最高温度は26℃とします。)

保管状態 AITデータカートリッジは、保護ケースに入れて、フタをして保管してください。置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

■ 運搬条件

温度 -40～45℃

湿度 5～80% (ただし、湿球の最高温度は26℃とします。)

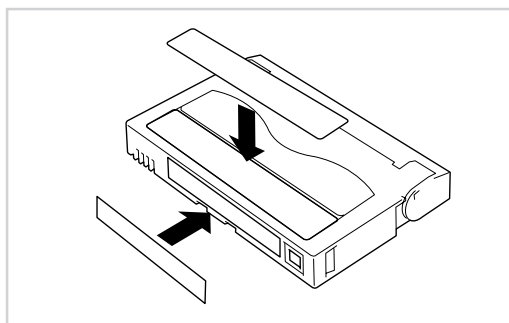
温度勾配 10℃/時間

運搬状態 AITデータカートリッジを保護ケースに収納してください。輸送の場合には、AITデータカートリッジに力加わらないように包装してください。

ラベル

どのAITデータカートリッジにどのデータをバックアップしているかなどがすぐわかるようにAITデータカートリッジにラベルを貼り付けておくことをお勧めします。

ラベル貼り付け位置



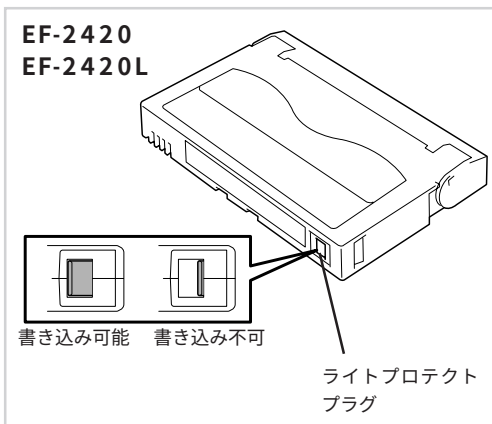
ラベルへの記入上の注意事項

- AITデータカートリッジの内容を表示するために用いるラベルは簡単に取り換えることができ、取り外した後に粘着物が残らないようなものを使用してください。
- 内容の表示を変更するときは、消しゴムで消さず、必ずラベルを貼り替えてください(INDEXラベルはAITデータカートリッジに添付されています)。
- ラベルを貼るときは、前項で指定された位置に確実に貼り、さらに取り換える場合は古いラベルを取り除いてから新しいラベルを貼ってください。
- 指定のINDEXラベル以外のものを使用する場合は、大きさが合ったものを使用してください。
- 添付のINDEXラベルには、使用開始年月日を記入してください。AITデータカートリッジの寿命をチェックする目安となります。

ライトプロテクト

ライトプロテクトプラグを右図のように設定すると、テープの内容が保護されます。

書き込んだデータを消去したくないときは、このプラグを「SAFE」側(書き込み不可)に設定してください。また、プラグを「REC」側(書き込み可能)に設定するとテープに書き込み可能となります。



取り扱い上の注意事項

使用上のご注意

使用する前

- 使用するAITデータカートリッジが、外的損害を受けていたり、または変形したり、曲がっているときは、使用しないでください。
- 装置の使用温湿度条件以外で保管されていたAITデータカートリッジを使用する場合は、使用温湿度条件以外にあった時間より長く（最大8時間）、使用環境に持ち込んでから使用してください。保管場所と使用場所の温度差が大きい場合は、一度に持ち込むのではなく、温度変化が1時間に10℃以下になるようにして、AITデータカートリッジを使用場所の温度になじませてください。

装置への装着

「AITデータカートリッジのセット」での説明に従ってAITデータカートリッジをセットしてください。AITデータカートリッジを取り出した後の保護ケースは、しっかりと閉じ、チリやホコリの少ない場所で保管してください。

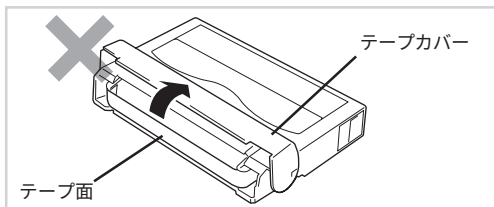
使用した後

- AITカートリッジが挿入口から飛び出している状態で長時間放置しないでください。
- バックアップが完了しましたら、できる限りAIT装置からAITカートリッジを取り出すをお願いします。（バックアップを行っていない時は、AITカートリッジを取り出しておくことをお勧めします）

使用済みのAITデータカートリッジは、必ず保護ケースに入れてチリやホコリの少ない場所で保管してください。置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

一般的注意事項

- テープに手を触れないでください。また、テープカバーを開閉しないでください。
- 磁気を発生するものを近づけないでください。
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 飲食や喫煙をしながらの取り扱いとは避けてください。また、シンナーやアルコールなどを付着させないように注意してください。
- 装置への挿入は、ていねいに行ってください。



使用禁止基準

以下の項目に該当する場合は、新しいAITデータカートリッジに取り替える必要があります。

- 落下させるなど強い衝撃を与え、AITデータカートリッジが損傷を受けた場合。
- 清涼飲料、コーヒー、紅茶など液体、溶剤や金属粉、たばこの灰などで記録面が汚れている場合。

重要

この状態でAITデータカートリッジを装置に挿入するとヘッドや装置を損傷したり、汚したりすることになり、装置の故障の原因となります。また、ヘッドの汚れやキズに気づかず、新しいAITデータカートリッジを装置に挿入すると、AITデータカートリッジを汚したり、傷つけたりして被害を広げることになります。

寿命

AITテープの寿命は、温度・湿度、ヘッドクリーニング回数などによって左右されます。毎日1回使用した場合、使用開始より1年後に交換することをお勧めします。また、1年未満でもエラーが頻繁に発生する場合は、その前に交換をお願いします。

AITデータカートリッジの寿命管理として下記の手順を実施していただくことをお勧めします。

- 新しいAITデータカートリッジに管理番号を割り当て、その番号をAITデータカートリッジのラベルに記入しておきます。
- AITデータカートリッジ管理台帳を作り、使用日を記録し、AITデータカートリッジの使用年数と使用回数を見積もります。
- 定期的にAITデータカートリッジの管理台帳と標識ラベルを調べ、長く使用されていたり、書き込み、読み取りエラーが発生するなど信頼性が低いAITデータカートリッジを廃棄します。

また、テープ磁性層は、化学物質で構成されており、時間経過と共に劣化します。

この劣化によるテープ寿命は、テープ保管の環境(温度・湿度)により大きく異なりますが、カートリッジを使用していない場合でもテープを購入してから約3年を目安に交換してください。

重要なデータの保存について

重要なデータまたはプログラムなどを保存する場合には、万一の場合に備えて、正副2巻に保存することをお勧めします。

また、保存する際にはバックアップソフトのベリファイ機能を利用し、保存したデータの確認も行うことをお勧めします。ベリファイ機能の利用方法については、各バックアップソフトの取扱説明書を参照してください。

こうしておけば、一方のテープがチリやホコリによるリードエラーを起こしても、もう一方のテープから復旧でき、大切なデータやプログラムの消失を防げます。

データの3世代管理について

ディスク上のデータを保存する場合は、保存したデータの3世代管理をお勧めします。3世代管理は、テープ3巻(A、B、C)を使用して、ディスク上のデータを1日目はテープAに保存し、2日目はテープBに、3日目はテープCに保存していくものです。これにより、例えば一巻のテープCがリードエラーを起こした場合には、データBを使用してデータを復旧でき、また、テープBがリードエラーを起こした場合でもテープAのデータを使用して大切なデータを復旧することができます。

データカートリッジの保管について

- 決められた保管状態を守り、保管場所を常に清潔にお保ちください。
- 書き込みを禁止にしておくことをお勧めします。
- 長期間にわたって保管する場合は、常にバックアップデータが復旧可能であることを確認するため、定期的にデータの読み出しを行うことをお勧めします。
- 万一の場合を想定してシステムから遠く離れた場所に保管しておくことをお勧めします。正副2巻のデータカートリッジがある場合は、正、副それぞれを異なる場所に保管しておくとともに効果的です。

仕 様

本装置の仕様について記載します。

■ 性 能

記憶容量	35 Gbyte(圧縮時：70 Gbyte)(EF-2420L使用時) 圧縮時の値は圧縮効率が2倍である場合の値です。 圧縮効率はデータパターンにより変化します。
ビットエラーコード	10^{-17} 以下
データ転送速度(TAPE)	4 Mbyte/秒(非圧縮時)
バーストデータ転送速度(SCSI)	40 Mbyte/秒(最大、同期)
イニシャライズ時間	5秒未満
ロード時間	14秒未満 (EF-2420L)
アンロード時間	20秒未満 (EF-2420L)
巻き戻し時間	105秒未満 (EF-2420L)

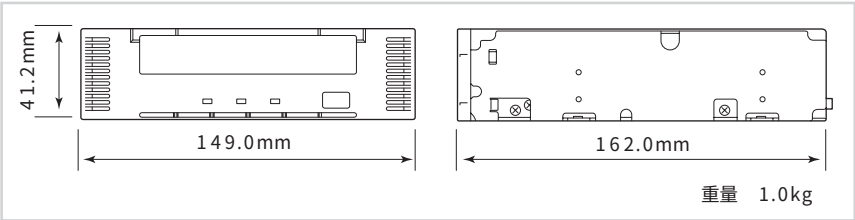
■ 環境条件

使用時	温度: 5℃～40℃ 湿度: 20%～80%(結露なきこと) 最大湿球温度: 26℃
非動作時	温度: -40℃～70℃ 湿度: 10%～90%(結露なきこと)

■ 電源仕様

電圧	5V±5%	12V±10%
電流(Typ.)	1.3A	0.4A
電流(Max.)	2.5A	1.2A

■ 寸法・重量



運用状況お客様記入シート

本装置を保守・管理する際に必要な情報を記録しておくメモ欄です。

項目	記入欄
基本処理装置モデル名	
オペレーティングシステム(OS) (名称、バージョン、サービス パック／パッチの適用状況)	
バックアップソフト (名称、バージョン、サービス パック／パッチの適用状況)	
SCSIバス構成 (SCSI ID／同一バス上のデバイ ス)装置設置環境	
装置設置環境 (温度、湿度、ホコリの状況な ど)	
カートリッジ種類 (メーカー名、EF型番)	
クリーニングカートリッジ種類 (メーカー名、EF型番)	
クリーニングカートリッジ使 用状況(クリーニング周期、使 用回数や使用開始月の管理方 法など)	
カートリッジ使用状況 (使用回数や使用開始月の管理 方法など)	
カートリッジの管理状況	

N8151-34
内蔵AIT取扱説明書

2001年 5月 初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL(03)3454-1111(大代表)

© NEC Corporation 2001
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行う
ことはできません。
本書の内容は予告なく変更することがあります。

